

Aquirex サンディング

仕 様 書

Sealer For Thickness | 211

和信化学工業株式会社

年 月 日

Aquirex サンディング

Sealer For Thickness | 211

Aquirex サンディングは、VOC 含有量1%未満の水性1液型中途塗料です。
導管への流れ込み性や研磨性に優れ、平滑な仕上りを実現し厚膜仕上げの作業性を向上させる下地剤です。

本品は、揮発性有機化合物(VOC)の含有量が少なく、ホルムアルデヒド放散等級もF レベルで化学物質の放散量が極めて少ない塗料であり、現場での施工でも安心してお使い頂けます。
その他塗料としてVOC 1%未満の着色塗料と上塗塗料も用意しておりますので、VOC 1%未満塗料で「着色～上塗り」まで塗装工程を組むことが出来ます。

§ ホルムアルデヒド放散等級

F (日本塗料工業会登録 W01367)

§ 特長

水性タイプの為、火気の心配がありません。
臭気が少なく作業中でも気になりません。
厚生労働省指定の毒物・劇物、消防法の危険物には該当しません。
(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)
VOC1%未満で様々な環境問題の原因となるVOCをほとんど含みません。
研磨性・肉持ち・導管への流れ込みに優れ、上塗塗料の塗膜性能を阻害しません。また、研磨により表面を平滑にすることで上塗塗料の仕上がり外観を向上させます。
VOC1%シリーズとして、
着色塗料 = Aquirex 水性オイルステイン 各色
上塗塗料 = Aquirex 木部用ウレタン 各ツヤ をご用意しております。

国土交通省「改正建築基準法」	適合
厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」	適合
文部科学省「学校環境衛生基準」	適合
東京都環境局「子どもガイドライン」	適合
「東京都環境物品等調達方針(公共工事)」*1	適合

*1 東京都が定める「環境物品等調達方針(公共工事)」には、その他環境負荷の低減に寄与するものとして、低VOC塗料と記載されており、塗料を使用する場合は、その使用を推進するとなっている。
低VOC塗料とは・・・鉛・水銀・カドミウム、六価クロム等の有害金属類を添加してしない塗料であって、VOC含有量1%以下の水性塗料であること。
(東京都環境物品等調達方針(公共工事)から抜粋)

§ 用途

階段、手摺り、内壁、内装ドア、ドア枠、廻り縁、巾木、収納扉などのあらゆる内装木部や天板などの家具への下地剤

§ 使用方法

本品は1液型水性塗料であり原液のまま塗装できますが、必要に応じて水で希釈して下さい。中塗塗料でありますので、必ず上塗塗料を塗装して下さい。
仕上げ用の上塗塗料には、Aqurex 木部用ウレタン 各ツヤをお使い下さい。

§ 乾燥性目安

標準塗布量 80～100 g/m²
研磨可能時間 2時間 (気温/湿度、20 /50%)
条件によって研磨可能時間は変わりますので目安として下さい。

§ 塗料性状

外 観	乳白色	目 視
粘 度	20 秒 ± 2 秒	No.4 フォードカップ / 25
密 度	1.04 ± 0.02	ウェイトカップ / 25
不揮発分	42.0%	計算値
保管安定性	異常なし	50 1ヶ月保管

§ 塗装工程(例)

工 程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備 考
素地調整	#150 サンドペーパー			
着 色	Aqurex 水性オイルステイン 各色	50g/m ²	3～4時間	刷毛
中塗り	Aqurex サンディング	80～100g/m ²	2～4時間	刷毛
研 磨	#320 サンドペーパー			
上塗り	Aqurex 木部用ウレタン 各ツヤ	80～100g/m ²	4時間以上	刷毛

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。また、乾燥時間は条件により変わりますので目安として下さい。

求める仕上がりの光沢によって、

艶あり仕上げには「Aqurex 木部用ウレタン クリヤー」

半艶消し仕上げには「Aqurex 木部用ウレタン 半ツヤ」

艶消し仕上げには「Aqurex 木部用ウレタン ツヤ消」 からお選び下さい。

§ 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿時の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが悪くなり、求める塗膜性能が出にくくなる場合がありますので、避けて下さい。(5 以下で作業を行う場合には、Aqurex 専用凍結防止剤をお使い下さい。)

本品は水性塗料でありますので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けて保管して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗って下さい。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。また、上塗塗料の養生時にはゴミの付着に注意して下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具などを着用して下さい。皮膚などに付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外見に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。